

平成 18 年度ホタテガイ採苗情報（第 6 報）

平成 18 年 6 月 1 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「稚貝の付着は続いています。」

1 ラーバの出現状況

5月31日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 $200\mu\text{m}$ 未満が 14 個/トン、殻長 $200\mu\text{m}$ 以上が 26 個/トンと前回調査時（合計 92 個/トン）より減少しました。しかし、依然として付着直前の大型ラーバは多数出現しています。

調査時の水深 10m 層の水温は 9.2°C と、前回調査時より 0.8°C 上昇し、平成 9 ~ 17 年の平均値 (10.7°C) より 1.5°C 低い値になっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月23日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されました。

各調査点の付着数は 68 ~ 1,537 個/袋でした。ほぼ全ての調査点で、付着数は増加し、多数の稚貝が付着しています。



図 調査点と付着稚貝調査結果

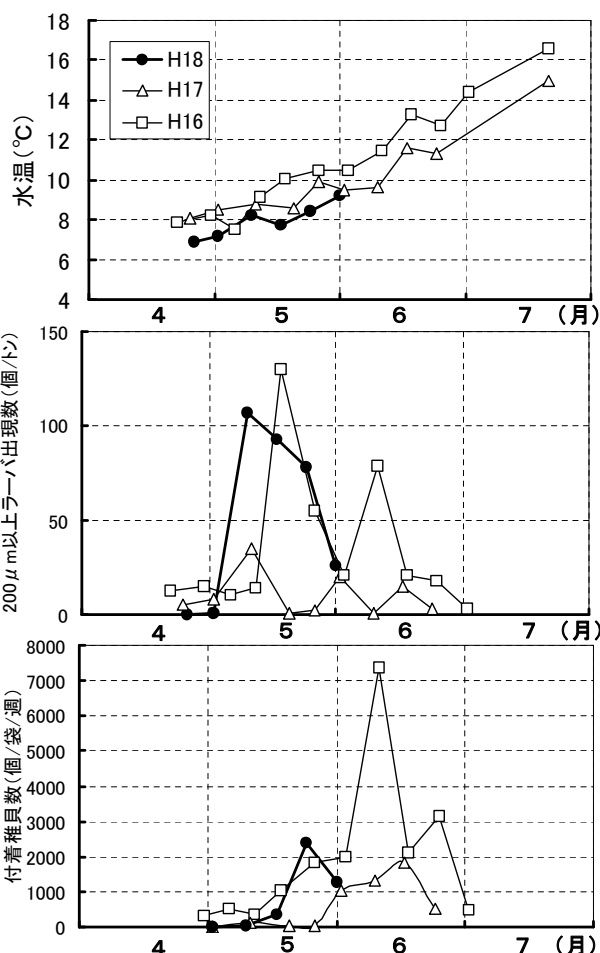


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 2 割が付着直後の個体でした。

県中部以南では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、6月8日に発行する予定です。